

真崎地区 自治会だより

No.26

発行 平成31年2月25日
編集 真崎地区自治会
(企画・総務部会)
電話 ☎283-4477
真崎コミュニティセンター
mas-comi@vill.tokai.ibaraki.jp

ごあいさつ



真崎地区自治会 会長 大内 隆彦

穏かな年明けとなりました。皆さま如何お過ごしでしょうか。平成の時代がもうすぐ終わりますが、この間に自治会活動も大きく変化しました。長い歴史を持った区長会制度から平成18年度に自治会制度に代わり、合わせて行政協力員制度が発足しました。また、小学校区を単位として活動する地区自治会もこの時に誕生し、現在に至っています。一方で、行政と自治会との関係見直しにより、平成27年度で行政協力員制度は廃止されました。さらに平成30年度は村内30の単位自治会が集まり情報を交換する場であった東海村自治会連合会が廃止されました。これにより、自治会と行政との関係が疎遠となり、これまで重要視してきた自治基本条例の自主自立のまちづくりや地域での活動が後退することが危惧され、イザという時の対応が難しくなるのではと思われます。これからは、地域住民も行政に頼るだけでなく、住民同士が出来る範囲で積極的に地域活動に参加し、誰もが安心して住めるまちづくりをする時代となっています。

昨年村内で初めて村松小学校がコミュニティースクール (C.S) をスタートさせました。小学校と地域住民、高齢者が一緒になって、お互いが持っている知識、経験を出し合い、お互いが満足しあえる環境整備を目指しています。活動内容は、交通安全教室、読み聞かせ、習字やミシン学習、村小まつり、長寿ふれあい敬老会、三世代交流会等です。各種行事を通して村松小の子供達との交流が図られています。地域住民の誰もが気軽に参加でき、子供達の成長を地域で見守り、子供達と交流して楽しむ事を大きな目標として息の長い活動をしていきたいと思ひます。

ワクワクFOODフェスティバル2019を開催します！

恒例の「ワクワクFOODフェスティバル」を開催いたします。今年で12回となり、多くの皆様楽しんでいただけるコーナーをご用意いたしました。FOODコーナーでは手作りのカレー、豚汁、お赤飯などの販売を行います。また、村松小吹奏楽部の演奏、南京玉すだれのアトラクション、豪華景品が当たる大抽選会などを企画し皆様のお越しをお待ちしています。ご家族、ご友人お誘い合わせてご来場ください。

日 時 平成31年3月2日(土) 午前10時～午後2時
会 場 真崎コミュニティセンター (雨天決行)
FOOD カレー、豚汁、お赤飯、焼きそば、コロケ、珈琲、たい焼き、おでん、パウンドケーキなど
催 事 革工芸教室、紙飛行機・竹トンボ作り、包丁研ぎ、村松小吹奏楽部の演奏、南京玉すだれ、大抽選会など
同時開催 とうかい環境村民会議によるパネル展示



目次

- ・ごあいさつ／FOODフェスティバル… 1
- ・第6回防災訓練…………… 2
- ・役員会及び各専門部会の活動報告…… 3
- ・真崎地区社会福祉協議会…………… 4～5
- ・青少年育成東海村民会議村松支部…6～7
- ・地区内の活動紹介…………… 8

第6回 防災訓練 (10月27日)

昨年10月に第6回防災訓練を実施いたしました。「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に、いつ起こるかわからない災害に備え訓練を行いました。初期消火、発電機操作、避難行動要支援者の搬送、AED取扱訓練、炊き出しなど多くの訓練を体験し、防災意識の高揚と地域の交流を図ることができました。

事前にできることを日々積み上げていくことが、災害時に少しでも危険要因を減らすことができ、また、あわてずに行動できるようになります。今後も継続して実施いたしますので、積極的にご参加ください。

「シェイクアウト訓練」は、どこでもその場で動作を行い、安全確保行動を身につけるものです。今回は前年を上回る247世帯、551名の参加申込みがあり、安全確保に対する意識の強さを感じました。

また、防災訓練の他、交通安全や防犯パトロールを行い、子供や高齢者を地域で見守る活動にも積極的に取り組みました。



負傷者運搬訓練



煙体験



初期消火訓練



避難行動要支援者の搬送訓練



AED 取扱訓練



発電機操作訓練



役員会及び各専門部会の活動報告



地区自治会役員会及び運営委員会

水と緑のある 安心して心豊かに生活できるまち

毎月の定例役員会で、地区自治会の行事の計画立案や地域の課題について話し合っています。村の「まちづくり出前講座」では、介護予防の基礎知識を学び、運動機能向上を図る、ヒット曲に合わせたストレッチダンスを、楽しくも真剣に行いました。これからも、さらなる地域活動の活性化を目指し取組んでまいります。



基礎知識の学習とストレッチダンスの様子

農・工・商部会

地域連携による豊かな生活ができるまちづくり

地区内生産者の方の野菜販売を、毎月第3水曜日（8、12月除く）に真崎コミセン玄関前と舟石川三区集会所で行っています。また、地区内のイベントにも参加しています。新鮮でお安いものをたくさん用意していますのでどうぞご利用ください。

*行事の都合で開催日が変更になる場合があります



朝市の様子

建設・環境部会

花と緑に囲まれた、快適で環境にやさしいまちづくり

地区内9ヶ所の花壇に、毎年春と秋に季節の花を植栽しています。秋に建設・環境部会、地域の団体、子供会の皆さんにご協力いただき、古い花苗や雑草を抜いた後に、パンジー、ピオラ、ノースポールを約1,800株植付けました。寒さが厳しい季節ですが、近くの色鮮やかな花壇をお楽しみいただくとともに、寒さの中で成長する花を見守ってくださいますようお願いいたします。これからも、季節を感じるやさしい環境づくりを続けていきます。



植栽の様子

企画・総務部会

地域を愛し、人がつながるまちづくり



部会の様子

企画・総務部会では「地区自治会だより」の年3回発行のほか、地区内の行事の案内や部会、各団体の活動や紹介等、身近な情報をお伝えしています。地域的话题をたくさん掲載しますので、皆さんからののお便りもお待ちしています。

「食」をテーマの中心とした「FOODフェスティバル」は、今年で12回目を迎え真崎地区の恒例行事となりました。伝統を大切にしながら新しい企画を加え、楽しいイベントになるよう部会員全員で盛り上げます。

福祉
部会

真崎地区社会福祉協議会

長寿ふれあい敬老会

H30. 9. 19 (真崎／荒谷台区)、11. 21 (舟三区)

人生の先輩である高齢の方に対し、今後の健康と長寿をお祝いすると共に、日頃からの感謝の意を込め「長寿ふれあい敬老会」を真崎コミセンと舟石川三区集会所の2か所で開催しました。

真崎コミセンでは、「一緒に踊ろう～エンカサイズ～」で体を動かし、村松小学校2年生の児童の皆さんのかわいい歌声や、心のこもった手紙のプレゼントで楽しい一時を過ごしました。舟石川三区集会所では、区内の皆さんによる和太鼓やコーラス、チンドン屋披露、二人羽織などの演目に大いに盛り上がりました。いつまでも元気で健やかに過ごしていただくことを願っています。



エンカサイズで認知症予防



村松小2年生の発表



手作りのお赤飯でお祝い



バッチリ揃った和太鼓の演奏



ひまわりサロンのみなさん



爆笑の二人羽織

世代間交流会 (小学生と高齢者の交流会)

H30. 10. 17

子供たちへの地域文化や伝統の継承、高齢者の社会参加や生きがいづくりを目的に、地域の75歳以上の高齢者と村松小学校4年生児童、先生、PTA役員、社協関係者が参加して、真崎コミセンで世代間交流会を行いました。子供たちからは歌や手紙のプレゼントがあり、高齢者からは生活や農業に使った昔の道具を子供たちに実物を見せながら説明しました。

昼食の準備は子供たちも配膳を手伝い、食事後はクイズやジャンケン大会をとおして会話が弾み、交流を深めることができました。



唐箕の実演に興味津々



村松小4年生の歌の発表



最後は握手でお別れ

第2回健康ウォーキング

H30. 11. 9

保健部会では、健康維持、増進、リフレッシュのための「健康ウォーキング」を年間3回企画しています。

第2回目の今回は、村社協のバスを利用し、あいにく曇り空のお天気でしたが、16名の参加で元気よくウォーキングしました。

御前山西登山口をスタートして、頂上の鐘つき堂跡から藤倉の滝を經由し「道の駅かつら」に戻る約3.7kmを巡るコースで、紅葉で色づく山道で気分もリフレッシュしました。



西登山口で記念撮影



頂上めざして！



頂上到着！頑張りました！

ふれあい協力員研修会 (調理担当者研修)

H30. 12. 18

ふれあい部会では調理担当者研修を年2回実施し、ふれあい食事会や敬老会、世代間交流会での安全でおいしい食事の提供に役立てています。保健センターより講師の先生をお招きし、「家庭の食中毒予防」について講話いただき、続いて調理実習を行いました。

今の時期は特にインフルエンザやノロウイルスに厳重な注意が必要です。予防のポイントは健康管理、手洗い・うがい、食品の十分な加熱です。

今回の調理実習は、ケーキ寿司、豆乳茶碗蒸し、粕汁、キャラメルりんごとホットケーキの4品に挑戦しました。メニューの準備と調理、工程を考えながら手際よく作業して、時間内に完成しました。作った料理はみんなでおいしくいただきました。



きれいに手洗いでできています



男性陣も頑張ってます



今回のメニューです

**「チャレンジ99クラブ」に入りませんか？
みんなで認知症を勉強し、健康寿命を延ばす会です！**

問合せは、真崎地区社会福祉協議会事務局（真崎コミセン内）まで

TEL 283-4477

教育部会

青少年育成東海村民会議村松支部

教育部会は、地区小中のPTA（先生と保護者）と共に、青少年育成村民会議を運営し、様々なイベントを通じ、地域ぐるみで青少年の健全な育成を図ることを目的に活動を進めています。

釣り大会

10月14日(日) 参加者総数 185名

中央排水路

今年も恒例の釣り大会を開催しました。今年は日差しが強すぎず、釣りにはちょうど良い天気での開催となりました。今年は低学年の参加者の割合が増え、初めての釣り体験に目を輝かせる児童が多かったようです。参加児童69名のうち釣れたのは18名に留まりましたが、そのような中でも35cmの大物を釣り上げた2年生の女の子や28cmを釣った1年生の女の子の他、22cmを釣り上げた2名が大物賞を獲得しました。また大漁賞は、3匹を釣り上げた2名の3年生と、2匹を釣った3～5年生の4名が獲得しました。昨年から低学年の入賞者が目立つようになっていて、釣竿を握ったことがない児童にも十分に楽しんでもらえたと思います。表彰式の後には、高校生会のじゃんけん大会で大いに盛り上がりました。参加者の皆様、運営スタッフの皆様、計測係で大活躍の高校生会の皆様、賞品の高級竿を提供して下さいました佐藤房明さん、イベントを応援して下さいました皆様、ありがとうございました。



餅つき大会・しめ飾り作り

12月15日(土) 参加者総数 約300名
真崎コミュニティセンター

穏やかで暖かい陽気のなか、恒例の「餅つき大会・しめ飾り作り」を開催しました。前日から多くの皆様に集まっていただき、材料の下ごしらえと会場準備をおこないました。当日は朝から滝坂住宅の皆さんを中心にかまどに火を起こし、3台の蒸籠で次々ともち米を蒸かし、大釜で豚汁を調理しました。若いお父さん達は、地域の皆様の指導の下、慣れない手つきで杵をふるって餅をつき、子どもたちも何度も並んで餅をつきました。東海中の中学生もボランティアで手伝いに来てくれました。多目的ホールでは、シルバー人材センターの指導員さんの指導のもと、31組の参加者がしめ飾り作りを行いました。簡単な作業ではありませんが、根気よく縄を編んでいたようです。新年を迎えるための日本の伝統的な年越し行事を、三世代の住民が一緒になって体験し、楽しむことができました。会場では他にも朝市の皆様による採れたて野菜の販売や、真崎の未来を考える会主催の子育て用品交換会が行われ、地域の住民の良い交流の場となりました。行事に参加した皆様、協力して頂いたたくさんの皆様、ありがとうございました。



青少年育成東海村村民会議村松支部の事業に日頃からご協力いただきましてありがとうございます。村松支部は、自治会員（教育部会員）、PTA役員、学校教員で構成され、地域ぐるみで青少年の健全な育成を図ることを目的に活動しています。この事業は、地区内の皆様の一世代300円の会費などを基に運営されております。

地区内の活動紹介

にろく有志会



にろく有志会は、舟石川三区の平成26年度の常会長が中心となって発足した集まりで、現在10名で活動しております。

主に舟石川三区の各種イベントのために、何かお手伝いできないかと集まった、中堅どころの面々です。8月の行灯まつりや2月の三世代交流会等への参加協力をしています。写真は、三世代交流会でのトルネードポテトを作っているところです。15kgのジャガイモがあっという間に完売。おいしく食べていただきました。これからも、舟石川三区のみならず真崎地区の発展に貢献したいと思います。どうぞよろしく願いいたします。なお、会員を募集しておりますので、お気軽にお声かけください。



真崎の未来を考える会・まさき会

『地域の宝 再発見！「真崎古墳群での古代体験」』 & 『ぐるぐる市（子育て用品交換会）』
（6月30日、8月4日、9月8日 / 12月15日）



火おこし体験で熾こした火で飯盒炊飯、最後の眺望に感動する古墳巡り、どれもおいしい古代米の試食、最後は真崎に伝わる紙芝居。今年は約250名の方が「古代体験」で非日常を体験されました。来年度も多くの方のご参加をお待ちしております。

<https://www.facebook.com/ra.masakichiku/>

3回目となる「ぐるぐる市」は、子育て世代はもちろん、孫育て世代にも好評いただいており、“支え愛”で多くの笑顔が繋がる場となっています。自家栽培のサツマイモを使った焼き芋は子供たちに大人気でした。



【編集後記】

年も改まり平成最後のワクワクFOODフェスティバルも真崎地区委員会時代も含めてこの3月2日の開催で12回を迎えます。真崎区、舟石川三区、荒谷台区からなる真崎地区自治会のお祭りとして当たり前になったのでしょうか。お祭りは地域の空気感であり、人と人、地域と地域の心を結びつける機運を醸成するものと思います。地区自治会を中心に各自治会や地域団体の皆さんと一緒に祭りに向けて準備を進めさせていただいております。ぜひこのお祭りを楽しんでいきましょう。【H.M.】

*このたよりは、村の地域づくり推進事業、真崎地区社会福祉協議会、青少年育成東海村民会議村松支部の補助金等によって発刊しました。